

---

# 黄金岬にそびえる遺影

白丁花

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

黄金岬にそびえる遺影

### 【Nコード】

N8077D

### 【作者名】

白丁花

### 【あらすじ】

君がいなくなっからの報告をするよ

**（前書き）**

ジャンルは一応、詩ですが詩と呼べるかは不明です・

君が亡くなってから2年がたつよ

いつも一緒にいて、特別なことをしなくても楽しかったよな

君は仕草や言い方、性格までもが子供っぽかったから

いつも俺が注意していた

たまに言い合いになった時も君は感情論で俺は常識論ばかり

そんなんだから当時は君が俺なんかよりもずっと子供だと思っていた

けど今、思い出してみると大人ぶっていた俺が子供で素直だった君が等身大だった

知らない間に俺は君のそんな感情論に感化されていたんだろうな

だから君が亡くなった時は気が狂いそうだった

というか、実際に狂っていたと思う

・・・あれからたくさん色んなことがあったんだ

あんな大切な時に団を抜けて一人で消えたんだ

それから1年も姿をくらましていたんだぜ

信じられないだろ？

なのに団のやつらときたら

帰ってきた俺に、ただ一言

「おかえり」って言うてくれたんだ

だから俺は、ここが家なんだって思ったんだ

それから1年は無我夢中なほどに必死で正直あまり憶えてないんだ

でもやっと一区切りついたところ

それで今日は報告

君が亡くなる直前に言ってくれた言葉

俺はこっちで精いっぱい生きてからそっちへ行くこと

そして約束した

“生きる”を育む団をまっとうすること

なあ、君が亡くなってあれから2年がたったよ

もしかしたら、上のほうからか、どこからか俺達を見てるのかい

今日までの俺はどうだった？

“生きる”を育むってすごい難しいよ

・・・終わりがさ、ないんだ

そう・・・

だからこそ、

まだまだ途中だから

約束したとおり、とことん目指すよ

俺の行く道を

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8077d/>

---

黄金岬にそびえる遺影

2010年10月21日22時14分発行